

## 立地条件ならびに周辺環境の把握について

## 1. 再整備予定地の位置

あぶくまクリーンセンターの再整備予定地は、「福島県福島市渡利字梅ノ木畑 1-1 あぶくまクリーンセンター及びその隣接地」を予定している。

再整備予定地は、予定地南側にクリーンセンター（焼却施設、資源化工場）があり、北側にクリーンセンターで発生した余熱を活用しているヘルシーランド福島（余熱利用施設）がある。

施設整備にあたっては、既設のあぶくまクリーンセンター及びヘルシーランド福島を稼働させながら整備する必要があると、敷地中央部分に建設することで地域の同意を得ている。

また、再整備予定地（ヘルシーランド敷地内）の地下水位は、3.5m～13.0m 程度と敷地山側（東側）の水位が浅い。なお、支持層（N 値＝50）は、5～17m 程度であり、山側の支持層が浅い。

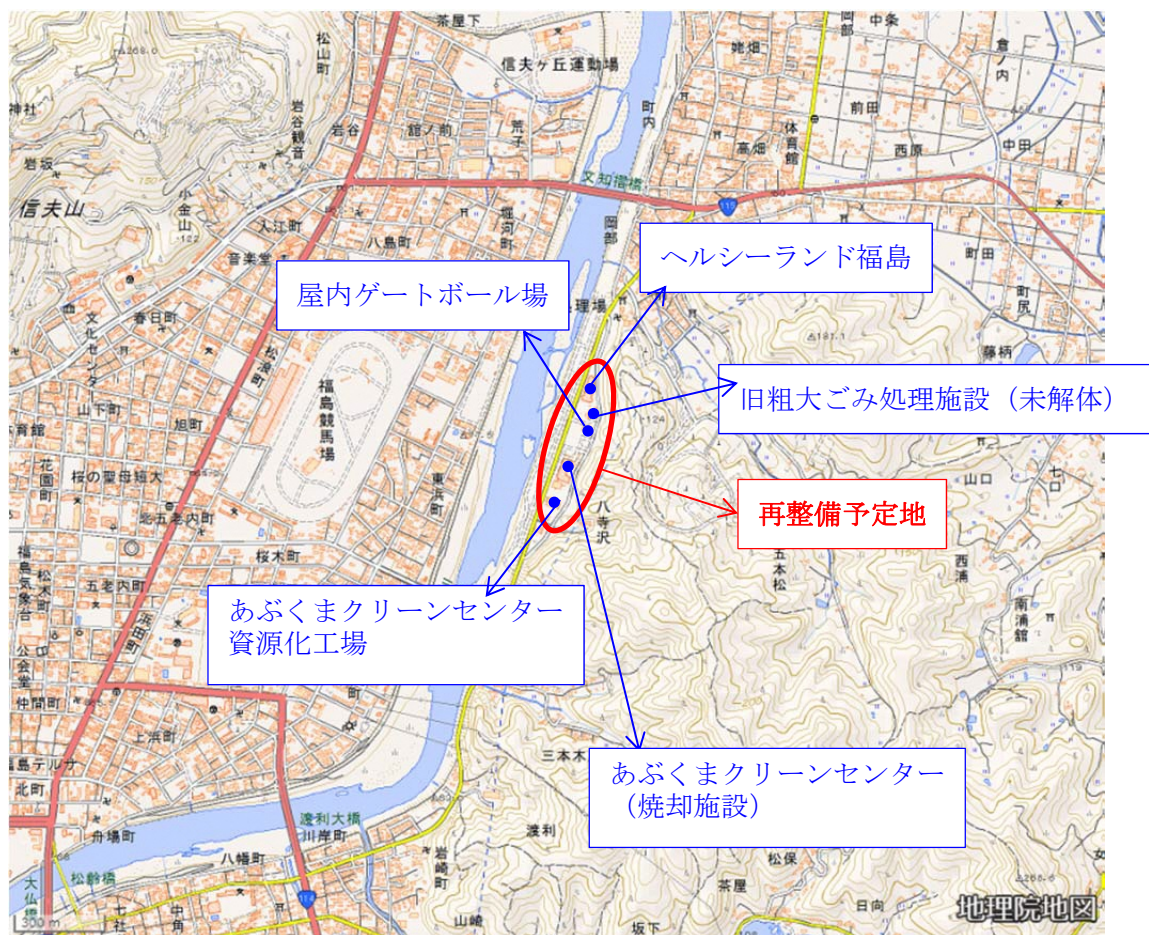


図 1 再整備予定地の位置

## 2. 再整備予定地の立地条件

### (1) 法規制等の状況

再整備予定地の法規制の状況を表 1 に示す。

表 1 法規制の状況

法令		状況
再整備予定地		福島県福島市字岡部字山下、字上川原、渡利字梅ノ木畑、八寺沢下地内
都市計画面積		2.8ha
廃棄物の処理及び清掃に関する法律		新施設整備に伴う設置届の申請が必要
環境影響評価法		該当せず
福島県環境影響評価条例		対象事業に該当（焼却能力4t/h以上）
都市計画法		都市計画決定：福島ごみ焼却場（最終変更 昭和60年2月28日福島市告示第28号）
		都市計画区域：市街化調整区域
		福島市風致地区内における建築等の規制に関する条例：適用除外
建築基準法	法42・43条	接道義務：道路に2mないし3m接する
	法48条	市街化調整区域
	法52条	容積率：200%
	法53条	建ぺい率：70%
	法56条	道路斜線規制：∠1.5 隣地斜線規制：∠1.25+20m 北側斜線規制：該当せず 日影規制：該当せず
	法86条	積雪の単位重量：20N/m <sup>2</sup> 垂直積雪量：50cm
	法61・62条	防火地域・準防火地域：該当せず
	法22条	該当する
	法27条	特殊建築物に該当
自然環境保全法		該当せず
自然公園法		該当せず
鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律		福島（身）（期限：平成42年10月31日）
文化財保護法		該当せず
砂防法		砂防指定地：該当せず
		土砂災害警戒区域等：該当せず
宅地造成等規制法		規制区域外
河川法		河川保全区域：確認中
農業振興地域の整備に関する法律		農用地区域：該当せず
景観法・景観条例		景観計画区域、大規模特定行為に該当 （高さが31mを超える、延べ面積が15,000m <sup>2</sup> を超える、一方の長さが50mを超える）
その他		浸水ハザードマップ：浸水区域外

## (2) 周辺設備等の状況

再整備予定地の周辺設備の状況を表 2 に示す。

表 2 周辺設備の状況

ガス	プロパンガス（都市ガス供給区域外）
電力	敷地内に複数の電柱、電線あり
上水道	現あぶくまクリーンセンター東側に位置
下水道	計画区域外
接道	県道 309 号（岡部渡利）線及び市道新山赤土線
その他	ヘルシーランド福島への余熱蒸気配管あり ⇒ ①焼却施設からの蒸気は概ね 4.5～6.5MPa にて輸送している。 ②蒸気の利用用途は、プール、大浴場、サウナの加温、給湯及び冷暖房である。 ③全炉停止時及び点検時のみ補助ボイラーを使用して運転する。 ※今後新施設からの電気の供給について検討する。 ※再整備に際し、ヘルシーランド福島の運営に支障をきたさないよう留意する。

## 3. 再整備予定地の周辺環境

再整備予定地の周辺環境を図 1 及び図 2 に示す。



図1 ヘルシーランド福島側

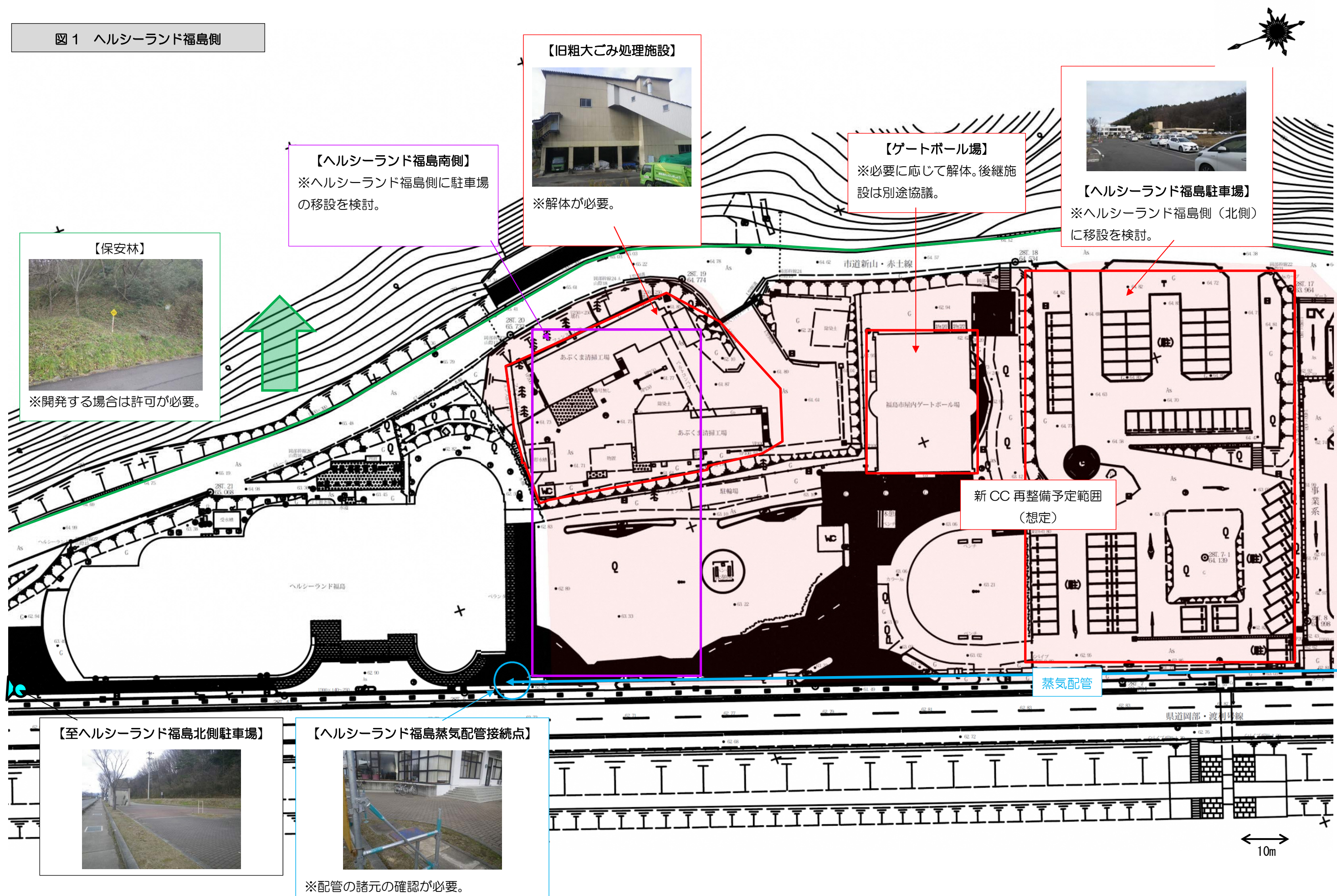




図2 あぶくまクリーンセンター側

【敷地入口（搬入車両入口）】



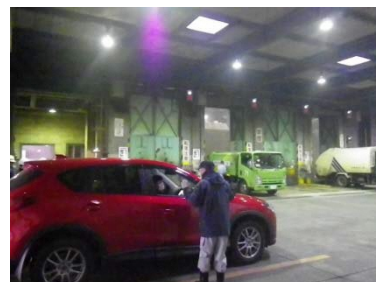
※2度計量必要。車両は一度市道へ出て再度入場する。

【小動物用小型焼却炉】



※規模は現状問題なし。平日ほぼ毎日稼動。

【プラットフォーム】



※委託、事業系、一般全ての車両が搬入する。

【CC 入口】

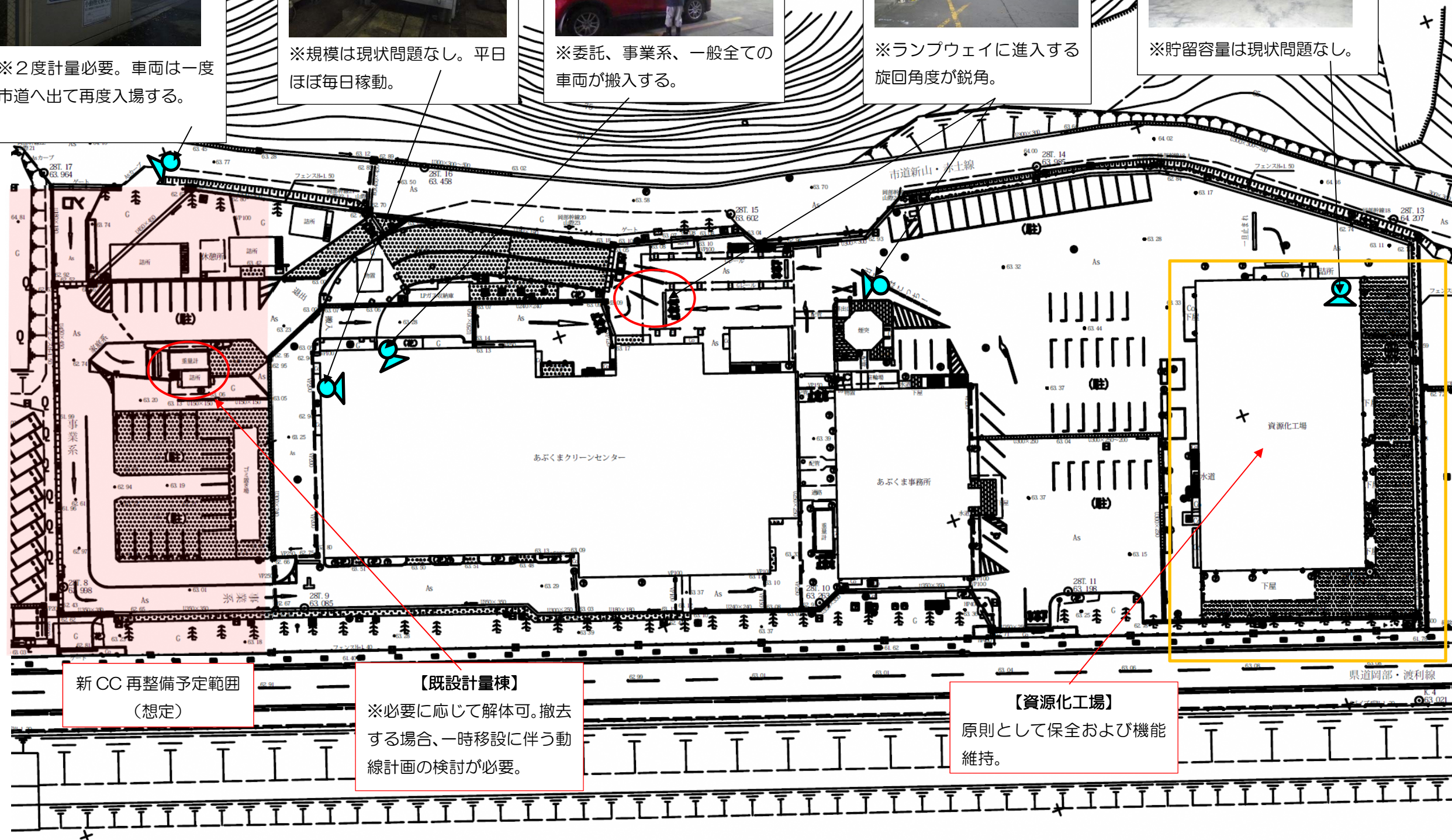


※ランプウェイに進入する旋回角度が鋭角。

【容リプラストックヤード】



※貯留容量は現状問題なし。



新 CC 再整備予定範囲  
(想定)

【既設計量棟】

※必要に応じて解体可。撤去する場合、一時移設に伴う動線計画の検討が必要。

【資源化工場】

原則として保全および機能維持。